

中南米地域における農林水産分野での取組

令和 6 年 3 月
農林水産省

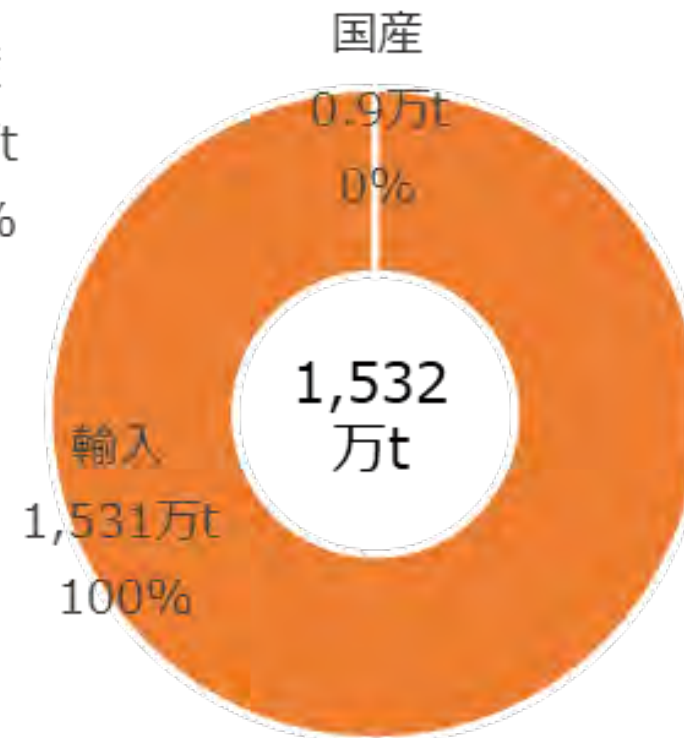
我が国における小麦・とうもろこし・大豆の消費・輸入状況

国内消費(令和4年度)

小麦



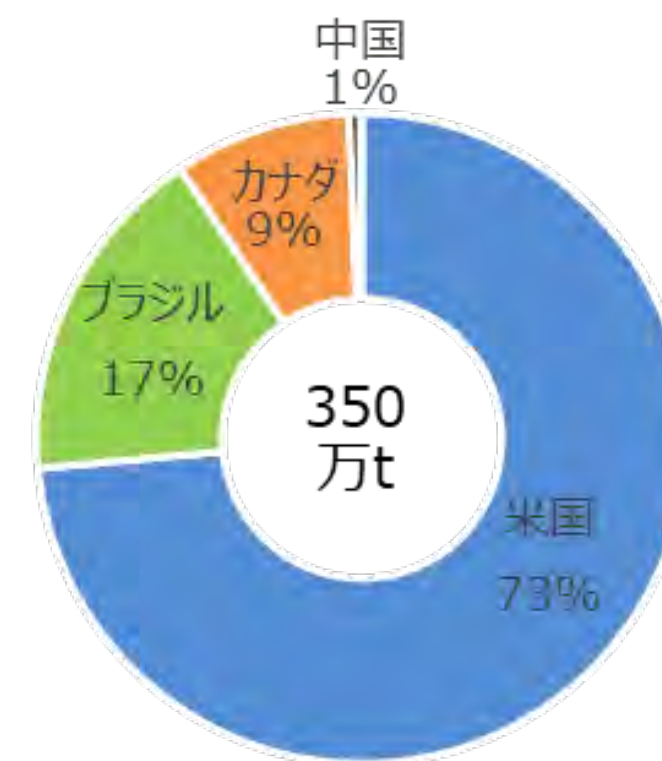
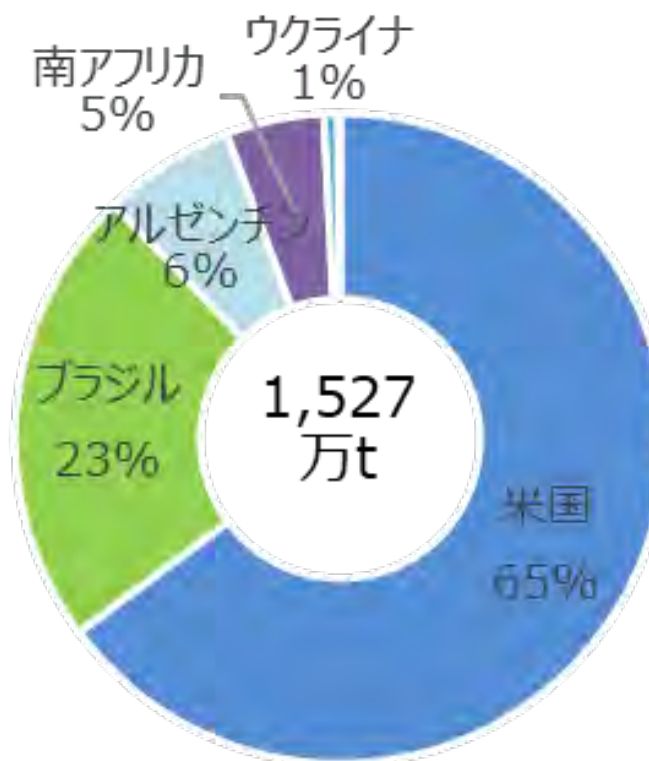
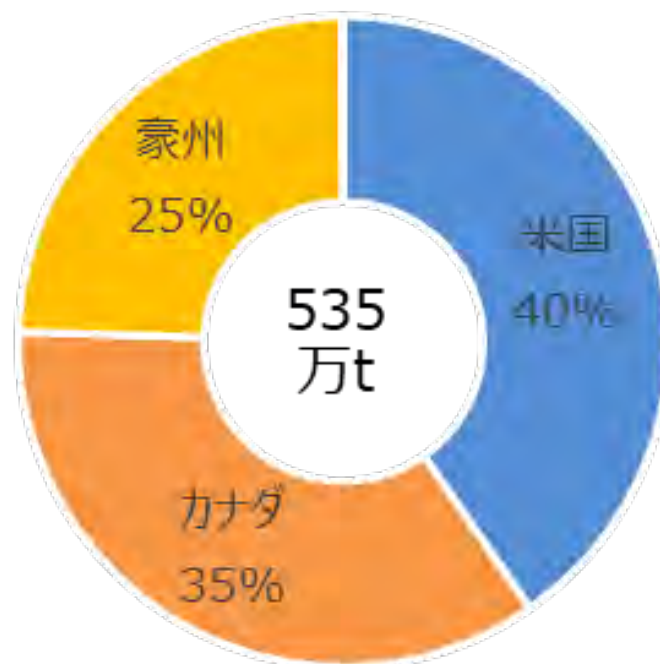
とうもろこし



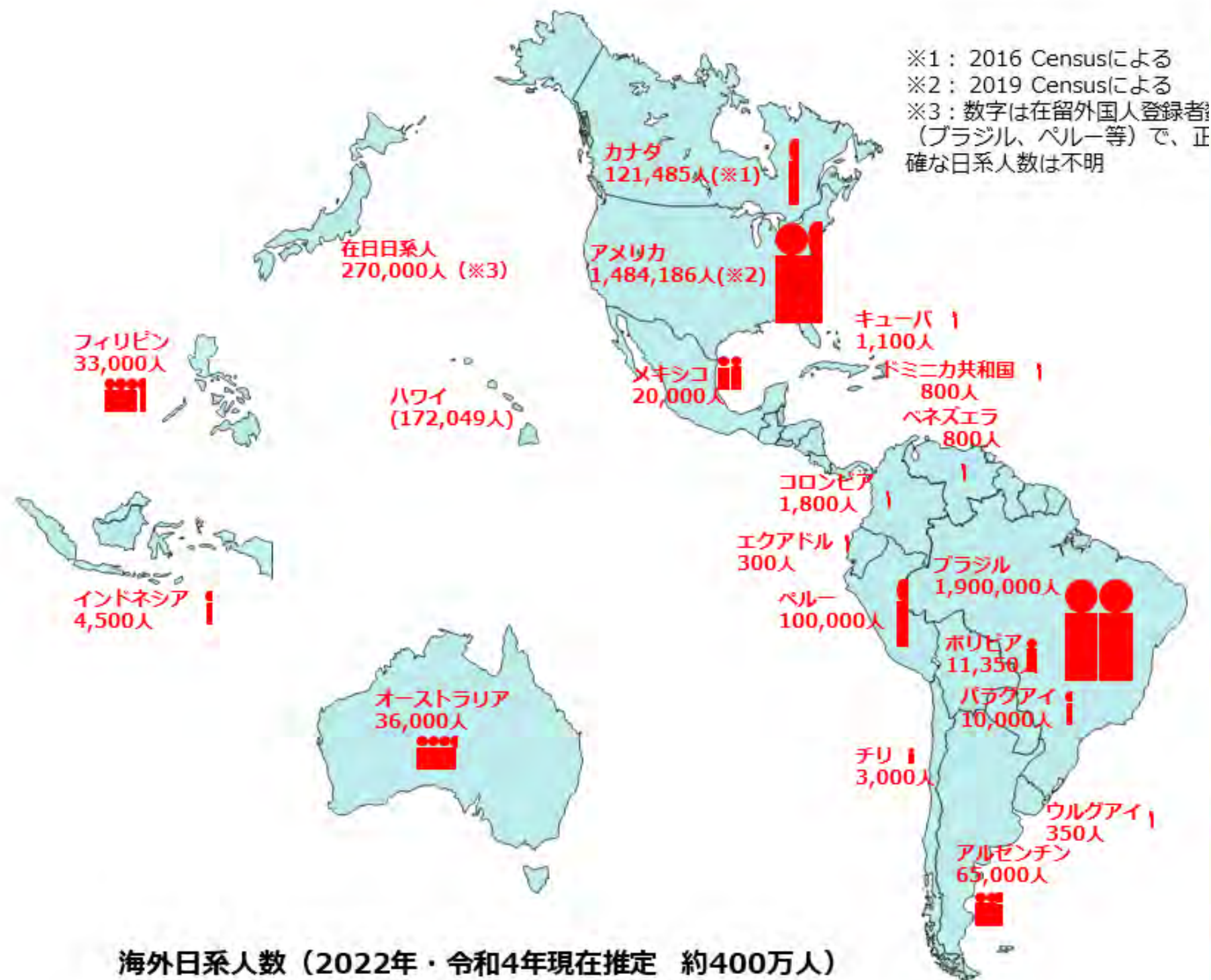
大豆



輸入内訳(2022年)



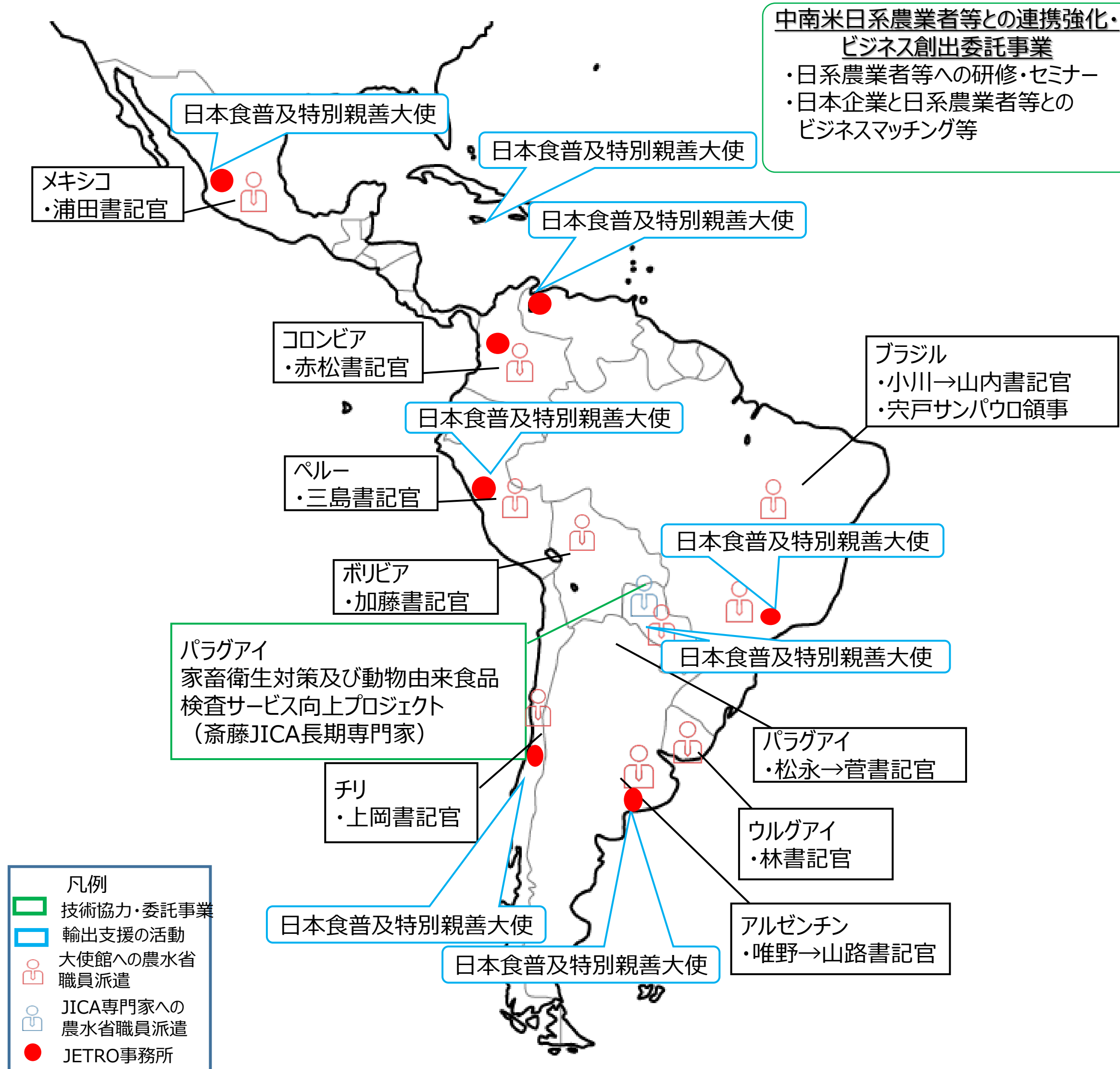
中南米における日系人数及び日系農業者団体



海外日系人数（2022年・令和4年現在推定 約400万人）

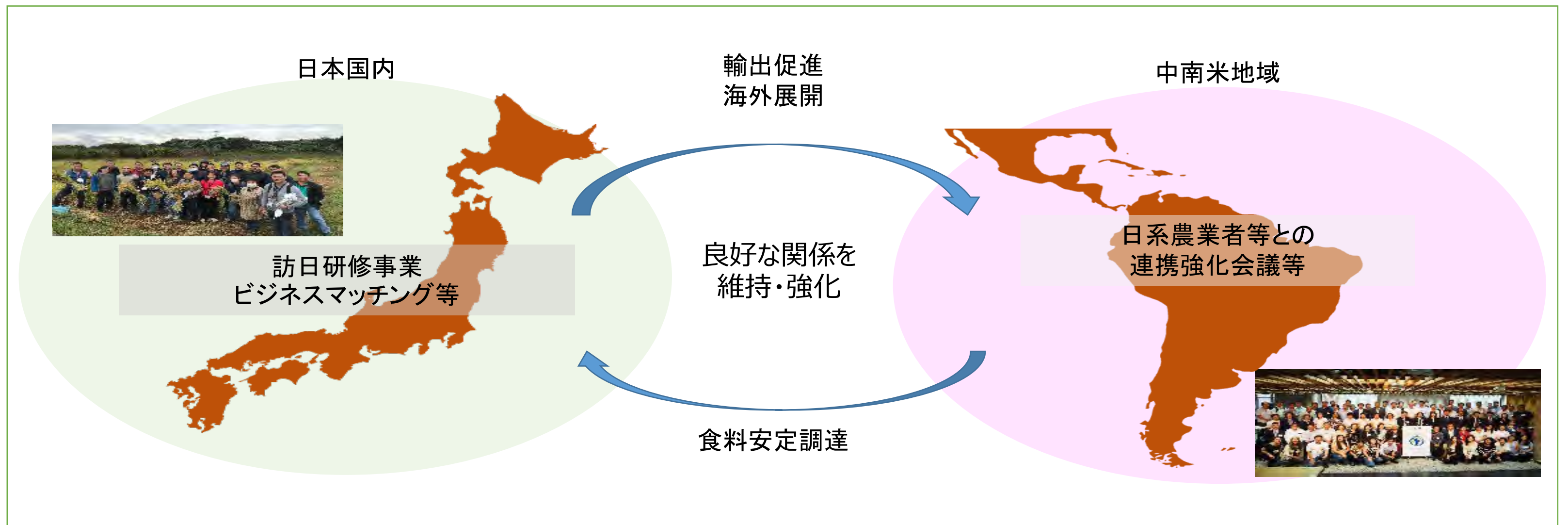


中南米各国での主な取組（農水省分）



中南米日系農業者等との連携強化・ビジネス創出委託事業

日系農業者等の連携交流の強化、農業・食産業分野での日本企業の中南米におけるビジネス創出、我が国農林水産物・食品の輸出促進に貢献するため、下記の取組を実施。



中南米地域の日系農業者と日本の商社や食産業関係者との連携強化を通じて、我が国の食料安全保障を確保するとともに農林水産物・食品の輸出を促進。

① 日系農業者等との連携交流の強化

日系農業者等連携強化会議
日系農業者等研修・ウェビナー

② 農業・食産業分野での日本企業の中南米におけるビジネス創出

日本の企業と日系農業者等とのビジネス創出の促進

③ 日本の農林水産物・食品・食材の輸出促進

中南米への食産業展開・輸出促進セミナー
中南米への食産業展開・輸出促進報告会
(GFVC中南米部会)

日本産食品等普及ビジネスセミナーの概要

日時：1月31日（水）9:00～10:45

場所：宮城県県人会館（サンパウロ）

1 参加者

日本企業等：株式会社グローバルフィッシュ（東京）、株式会社川原茶業（佐賀）、熊本物産協会（熊本）

現地企業等：水産物輸入業、食品小売業、レストラン等（23社・団体）

2 概要

- 日本企業、日系農業者及び日系人が関係するビジネス企業等の農業・食産業ビジネスの拡大のため、企業の取組を紹介するセミナー、ビジネスマッチング・商談会を実施。
- 1月14日（日）に同じくサンパウロで開催した日本産水産物PRセミナーでは、北海道産ホタテの初直接輸出を実現し、現地レストラン関係者等から高い評価を得られたところ、現地の水産物輸入商社による日本産水産物の良さや魅力を発信。

【主な発表・意見交換内容】

- ・生産者と消費者をつなぐ独自の「産直システム」について紹介するとともに、ブラジル向け水産加工施設認定の手続きを進め、今後中南米への輸出に注力する。
- ・製茶技術や抹茶を使用したラテ、アイス、パンケーキ等新たな茶の活用方法について説明。
- ・日本酒や焼酎などの県特産品についてのPR。
- ・現地の水産物輸入業者（1月14日に実施された日本産水産物PRセミナーのメイン商材であるホタテを日本から初輸入した輸入業者）等から、日本産ホタテ及びハマチの魅力をPR。
- ・参加者からは、「ブラジルにおける和牛の調達プロセス、ブラジル向け和牛の輸出見込み」や「日本酒の賞味期限や保管方法」についての質問等が寄せられた。また、加工食品の材料としての抹茶に代わって、本来の飲むお茶として美味しい茶をブラジルに導入したことを評価する意見があった。



（セミナーの様子）



（商品紹介・マッチング・意見交換の様子）

メキシコ向け日本産精米輸出解禁ワークショップの概要

○日時：2023年5月30日（火）11:00～13:30

○場所：日墨会館（メキシコシティ）

○出席数：100人以上（主な参加者：現地の輸入卸業者、小売り、レストランオーナー、ビジャロボス農業・農村開発大臣、同省担当職員多数、日本食普及親善大使など）

○主催者：農林水産省

○概要：

- ・メキシコ向け日本産精米の輸出解禁（本年3月）に伴う第一便が現地に到着するタイミングを捉え、現地の輸入卸業者、小売り、レストランオーナー等対象に、今後の日本産精米の需要拡大の可能性等についてワークショップを開催した。
- ・本ワークショップには、100名を超える参加者に加えて、メキシコ政府よりビジャロボス農業・農村開発大臣、同省幹部等が参加。
- ・その後、当方より今回の輸入解禁の内容等を説明し、日本産精米のおにぎりの試食を行った。
- ・試食では、メキシコ内のシェアが高いカリフォルニア産精米との違いを今回知ってもらうため、食べ比べを実施した。参加者からは、「日本産精米を使用したおにぎりは普段食べているお米とは、全く違うものだ。甘味、艶、色などのレベルが違うと感じた」というコメントが多く聞かれ、総じて好評だった。
- ・また会場には、現地（NYを含む）の卸業、食品メーカー等による日本産食品（和牛、ハマチ、日本酒等）や関連機材（寿司シャリ作成機、炊飯器、包丁等）が展示され、小売り、レストランからの関心を集めていた。



ワークショップで日本産精米を使ったおにぎりを試食



日本産精米を使ったおにぎりを試食するビジャロボス農業・農村開発大臣（左）